

推進計画評価シート

(1) 基本的施策

基本的施策	学校教育における文化芸術活動の充実						
	学校教育において、文化芸術に触れる機会を拡充するとともに、学校教育と文化施設との連携を推進します。						
目標達成状況	評価指標 (A)	目標値	実績				
			H28	H29	H30	H31	H32
	芸術家の学校への派遣割合 (計画期間における 派遣校数/全小中学校数)	80%	32%	38%	39%		
	学校教育における 子どもが文化芸術に触れる 機会の提供に対して 満足する保護者の割合	75%	51.0%	56.0%	57.1%		

(2) 具体的取組

		担当課	文化課	
具体的取組	さかいミーツアート			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月に「自由都市堺文化芸術推進計画」が策定され、基本的目標に掲げる「自由で心豊かな市民生活の実現」を図るための重点的方向性として「学校教育における文化芸術活動の充実」が位置付けられている。 次代を担う子どもたちを対象とした、文化芸術事業の根幹を支える事業であり、学校現場と派遣アーティストを繋ぐコーディネート機能を強化し、一過性のものでなく、継続性を保つことが必要である。 小・中学校等で多様なアートプログラムを実施することで、次代を担う子どもたちに新たな経験をしてもらうことで、豊かな心と感性を育むことができる環境づくりを推進する。 			
具体的取組の達成度を測る評価指標 ※基本的施策の 評価指標を踏まえて 設定すること	具体的取組指標 (B)	目標値	実績値	
		H30	H29	H30
	実施校数	14校	19校	19校
	参加児童数	1,500人	2,263人	2,110人

(2) 具体的取組

<p>上記目標値達成に向けた特筆すべき取組</p>	<p>実施予定の取組 (平成30年度)</p>	<p>【アートスクール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型に特化した授業を展開 内容は、音楽体験（楽器体験・発声体験等）、造形体験（粘土・竹工芸等）、能楽体験、ダンス体験などを想定。 <p>【アートアプローチ（支援学級向け）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援学級向けの体験型授業を実施。上記のアートスクールとは異なり、直感型に特化した授業を実施。 内容は、造形体験（粘土等）、音楽体験（楽器体験）などを想定。
<p>上記目標値達成に向けた特筆すべき取組</p>	<p>取組実績 (平成30年度)</p>	<p>小学校19校に対し、音楽、造形、能楽の体験を取り入れた授業を実施。</p> <p>造形では、粘土によるお皿づくりや竹工芸の体験事業を実施。音楽においては、ストロー等といった身近なものを使った楽器体験や学校で使用する曲を用いた発声練習、能楽ではお囃子や舞の体験を取り入れ、子どもたちに楽しみながら、体験をしてもらうような多彩なプログラムを実施した。</p>
	<p>今後の取組の方向性 (令和元年度以降)</p>	<p>今後も、学校側と事前調整を密に行い、意見等を取り入れながら、継続実施。</p> <p>また、学校、文化課、アーティストとともに協議し、学校の課題を解消するために、この授業がどのような効果をもたらすのかもモデル的に検証する。</p>